

# 令和8年度予算総額 66億1,865万円

前年度比 3億4,979万円減 (▲5.0%)

令和8年度の一般会計・特別会計・企業会計予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（窪田委員長・遠山副委員長）に付託され、3月13日と16日の2日間、慎重に審議しました。（関連3～9ページ）



## 未来につながるまちづくり

中原町長は、町政執行方針の中で「未来につながるまちづくり」を掲げました。持続可能なまちづくりに取り組み、地方創生を推進し元気に輝き続ける町政運営を目指すとして、「子育てと教育にやさしいまち」「家計支援と商工業の振興」など6つの政策課題をあげ、主要政策について述べました。

町長選挙が1月に行われたため骨格予算となり、予算総額は前年と比べて減少しました。

主な新規・拡充事業や注目事業を抜粋して掲載します。

※骨格予算…予算編成時期に首長選挙が行われる際、必要最小限度の経費を計上する予算。



福祉施設整備事業	1億7,000万円
にれの大樹祝金(拡充)	279万円
おでかけハイヤー(拡充)	364万円
有害鳥獣被害対策(拡充)	2,110万円
和寒ふるさとギフト	2,256万円



学校給食費無償化(拡充)	1,236万円
小中学校入学祝金(新規)	62万円
部活動地域展開等推進(新規)	62万円
こども家庭センター(新規)	1,896万円
妊産婦ケア(拡充)	86万円
新生児聴覚検査(拡充)	22万円



8年度予算の詳細は  
広報わっさお4月号を  
ご覧ください



# 福祉施設建設の 透明性確保を求める

## 附帯決議（要旨）

1. 予算委員会の質疑で工期の延長に杭工事も影響があったことも示され、議会に対し改めて全体工期の延長理由を求める。
2. 当初の一括入札から杭工事と建設工事の分離入札へと変更されることも示され、これにより現場経費などの工事コストの増加、建設の統括施行管理の不備、建設後に瑕疵が発生した場合の責任所在についての説明を求める。
3. 社会情勢の悪化などの影響から事業費の増大や工期の遅れなど町民の不安感が高まっており、今後、事業費はもとより入札や工事などに関して議会に適宜書面による説明を行い、事業の透明性確保と町民理解が得られるよう努めることを求める。



一般会計当初予算を賛成多数で可決した後、遠山議員が附帯決議案の動議を提出し、賛成多数で議事日程に追加し審議しました。

※附帯決議…対象の案件（予算案等も含む）について、議会が執行上の意見や要望を表明するもの。

## 討 論

### 賛成



池澤議員

ふくしのまちづくりは総事業費30億円を超える大きな事業で、町民の関心も非常に高く不安も大きい。

事業計画に変更があった場合や進捗状況は、これまで以上に透明性を持って説明していかなければ町民は納得できない。

事業者のゆうゆう、行政、議会、そして町民が共通の認識をもった中で進むことを望む。

### 反対



窪田議員

予算計上に至るまで報告がないことに対し議会軽視だという声も理解できるが、中原町長になつてから今までにはない透明性を感じ取れる。

中原町長は町民への説明をしつかりと担保できると確信し、附帯決議ではなく常任委員会としての必要事項と考える。

反対 2 窪田・村岡

賛成 6 石田・酒向・池澤

遠山・長澤・斉藤

## 附帯決議に対する 町からの回答

町からの回答

- 1 工期延長の理由について  
昨今の社会情勢による諸般の事情から、当初工期での完成は困難であると判断した。また、杭の制作に想定以上の期間を要することも要因である。
- 2 工事の分離入札について  
道補助金の対象事業期間が2か年に限定されており、分離発注により経費の増加は見込まれるが、約2億円の財源確保に資するものである。工事完了後に瑕疵が発生した場合、社会福祉法人ゆうゆうが締結する建築工事請負契約約款の条項に基づき対応する。
- 3 町民理解について  
議会へ適宜情報提供を通じて説明責任を全うしていく。また、入札の公平性に配慮しつつ、町ホームページ等で事業の進捗を可視化し、透明性の高い事業執行に努める。